

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年9月14日(2006.9.14)

【公表番号】特表2005-538129(P2005-538129A)

【公表日】平成17年12月15日(2005.12.15)

【年通号数】公開・登録公報2005-049

【出願番号】特願2004-527183(P2004-527183)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/282	(2006.01)
A 6 1 K	31/337	(2006.01)
A 6 1 K	31/352	(2006.01)
A 6 1 K	31/436	(2006.01)
A 6 1 K	31/5377	(2006.01)
A 6 1 K	31/704	(2006.01)
A 6 1 K	31/7048	(2006.01)
A 6 1 K	33/24	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	31/282	
A 6 1 K	31/337	
A 6 1 K	31/352	
A 6 1 K	31/436	
A 6 1 K	31/5377	
A 6 1 K	31/704	
A 6 1 K	31/7048	
A 6 1 K	33/24	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	43/00	1 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月28日(2006.7.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも一つのerbBチロシンキナーゼについての阻害剤と、ジェムシタビン、パクリタキセル、ドセタキセル、シスプラチニン、カルボプラチニン、エトポシド、アドリアマイシン、トポテカン、CPT-11、カペシタビン若しくはそれらの薬学的に許容しうる塩、または電離放射線から成る群より選択される少なくとも一つの抗腫瘍因子との治療方式での投与を含む、細胞増殖性疾患を処置する方法。